



第2530地区 福島西ロータリークラブ会報

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

令和4年6月6日(月) 第32回 通算第1626回例会

会長 高橋 智 弘隆
幹事 相澤 隆

奉仕プロジェクト委員会委員長 高梨 哲 男

会報写真担当 宮崎 秀 剛

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第32回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 高橋 智 弘会長
- ◇国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 西形 健 吉会員
- ◇「四つのテスト」唱和
職業奉仕委員会 黒澤 信 之会員
- ◇お客様並びにビジター紹介
 - ・福島地区薬物乱用防止指導員
(元 福島県医療薬事課 課長) 在原 登 様
 - ・(株)庄司断熱代表取締役 庄司 強 志様
 - ・グリーンファーム代表 梅津 誠 一様



- ◇新会員入会式
庄司 強志会員 (株)庄司断熱代表取締役
推薦者… 寺島英樹会員
梅津 誠一会員 グリーンファーム代表
推薦者… 寺島英樹会員



6月誕生祝い



・相澤 隆会員 昭和30年6月19日生

◇会長あいさつ



高橋 智 弘会長
皆さん、こんにちは。
まず、今日入会されました庄司強志会員、梅津誠一会員、ようこそ福島西ロータリークラブへ、これからよろしくお祈いします。また、今月誕生日の相澤隆会員お誕生日おめでとうございます。

さて、今日の例会は、福島地区薬物乱用防止指導員で元福島県医療薬事課課長の在原登様に、薬物乱用に関するお話をして頂きます。当クラブでは、長年にわたり麻薬撲滅キャンペーンを行ってききましたが、ここで改めて勉強したいと思います。その前に少しだけ話をさせて頂きますが、皆さんはコロナ禍の中、日本の若者の間で、「薬物」の乱用が広がっていることをご存じだと思います。大麻事犯における20歳以下の若者の検挙数はここ数年最多を更新しています。国内に広がる薬物乱用の問題について「ダメ。ゼッタイ。」運動が全国で推進されています。当クラブは以前から麻薬撲滅のキャンペーンを実施してきました。ここ数年は実施できていませんが、長年にわたり啓発活動をしてきたクラブの取り組みを絶やすことなく続けて行けるようにしたいと思いますので、今日は在原様のお話をじっくりお聞きください。以上、ご清聴ありがとうございました。

◇幹事報告 相澤 隆幹事

- 例会変更のお知らせ
- その他のお知らせ
 - ・本日午後6時半から、エルティにて6月理事会を開催いたします。今回は新旧合同理事会となります。理事役員の皆様は出席をお願いいたします。
 - ・6月ロータリーレートは127円となりますのでお知らせいたします。

◇委員会報告

- ◇プログラム・出席・スマイリングBOX小委員会 高梨 哲 男委員長
- 高橋智弘会長=在原登様今日はスピーチよろしくお祈いいたします。今日は勉強させて頂きます。
- 久米允彦会員=新会員の皆様、これからよろしくお付き合い願います。
- 寺島秀樹会員=梅津さん、庄司さん入会おめでとうございます。

- 西形健吉会員＝久しぶりの新入会員を歓迎します。
- 宮崎秀剛会員＝本日もよろしくお願ひします。

——新会員入会式によせて——

- 相澤 隆幹事 ○梅津一匡会員 ○大平謹一郎会員
- 黒澤信之会員 ○齋藤武二会員 ○佐藤宗弘会員
- 野尻榮一会員 ○高梨哲男会員

本日のスマイリングBOX集計13件 26,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

- ◇会報・雑誌・広報・IT小委員会報告 宮崎 秀 剛委員長
- ◇「ロータリーの友」6月号紹介
- ◇本日のプログラム——ゲストスピーチ
「薬物乱用の実態と防止運動について」
福島地区薬物乱用防止指導員 在原 登様



財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

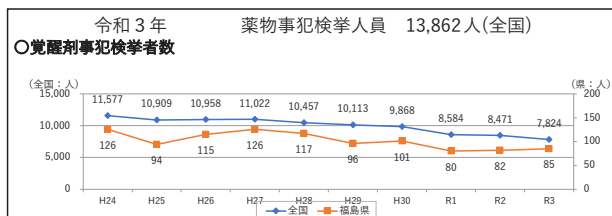
薬物乱用の実態と課題

乱用される代表的な違法薬物とは、
覚醒剤、大麻、危険ドラッグ、有機溶剤（シンナーなど）、MDMA（エクスタシー）、マジックマッシュルーム、LSD、コカイン、ヘロインなどがあります。

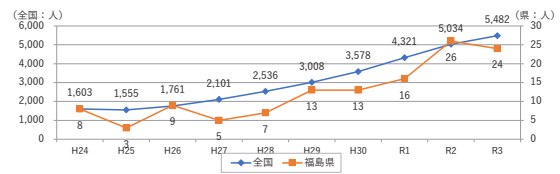
検挙率で見ると、平成3年の全国で、覚醒剤が約56.4%、大麻が約39.5%と2つの薬物でほとんどを占めています。

特に、大麻は、平成26年以降増加が続き、令和3年も過去最多となっています。年齢層別では、20歳代、次いで20歳未満となっており、かつ、この年齢層の増加が顕著となっています。（初犯者率は78.1%）

〔令和3年における組織犯罪の情勢〕（警察庁より）



○大麻事犯検挙者数



全国の状況は「令和3年における組織犯罪の情勢」(警察庁)より

一方、乱用される依存薬物としては、薬物依存臨床における中心的な物は覚醒剤・大麻(違法薬物)ですが、近年、違法薬物ではなく、身近な医薬品を原因とする薬物依存が増加しています。

精神科医療現場における薬物関連障害患者の実態を把握のため、1987年以降、「全国精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査」(病院調査)がほぼ隔年で行われていますが、最近の2020年の病院調査によると、国内の乱用薬物は、30～50代では覚醒剤であり、それ以上の高齢層では、睡眠薬・抗不安薬(主としてベンゾジアゼピン系薬剤)が大半を占めています。また、10代では、市販薬が圧倒的多数を占めており、その比率は増大しています。(オーバードーズが増加)

市販薬・処方薬への依存とはどのようなことなのでしょうか。

市販薬や処方薬の中には続けることにより依存症になるものがあります。また、急に薬をやめたり減らしたりすると離脱症状があらわれることがあり、不快な離脱症状を和らげるために新たな使用を繰り返しがちになります。依存症になると自力ではやめられず、心身の健康や社会経済面など生活上の支障が出ることもあります。

〈参考〉「オーバードーズ」とは、

多幸福感を得て精神的な苦痛から逃れようと、医師が処方した薬やドラッグストアで買えるせき止め薬などを大量に摂取することを言います。

一方で内臓にも大きな負荷がかかり、機能低下を含めた悪影響が起こる可能性もあるほか、一度依存するとなかなか自身で離脱することは難しくなります。

- ・乱用とは：ここでは、大量もしくは頻繁に使用する、医師の指示や添付文書とは異なる使用をするなど本来とは違う使い方をすることを言います。
- ・依存とは：乱用を繰り返しているうちに、薬物の使用がコントロールできず自力ではやめられなくなってしまふ状態を言います。
- ・離脱症状とは：薬物の中止や減量に伴い出現する発汗、手の震え、嘔気嘔吐、イライラする、落ち着かない、不安、幻覚、興奮などの症状を言います。

このような人たちを、どのように、乱用や依存から回復させるかが、今の課題となります。

どうすれば乱用や依存から回復させることができるのでしょうか。

まずは、依存しなくてすむ方法や取り組みを考えてみましょう。

依存からの回復は、行為そのものを止めさせることばかりに目を向けず、行為の背景(要因)にある不安や孤立などの解決が不可欠となります。

つらい気持ちや困ったことを信頼できる相手や専門相談窓口にご相談することが第一歩となります。

乱用者自身が抱え込むことが一番の問題点です。家族や周囲からの手助けが重要です。

困っている人が「助けて」と声をあげやすい環境づくりをすることが必要です。

「要因」

乱用者の多くの実態は、薬物乱用以前よりリストカットや、「消えてしまいたい」「死にたい」という気持ちを抱えるなど、さまざまな生きづらさを抱えた10代の若者。

種々の事情から、家庭や学校におけるさまざまな心理的苦痛を率直に親などの家族に相談することができず(あるいは、不信感から相談する気持ちにならず)、自分一人で抱え込んでいる人たち。自身の気分の落ち込みや不安感を紛らわせたり、仕事や友人との遊び、勉強などの意欲を出したりするために、市販鎮咳薬を「目的外使用」して、一過性に気分を向上かせて意欲を高めたり、不安を紛らわせたりしている。しかし、そうした薬理効果にもすぐに耐性が生じ、そうした一時しのぎではどうにもならなくなり、感情的苦痛に圧倒される。要するに、10代の市販薬乱用・依存患者は、本来、つらいときには周囲の人に相談しなければならぬところをそれができず、薬だけで困難を乗り切ろうとする人たち。いかえるならば、「薬にしか依存できない人たち」、あるいは、「安心して人に依存できない人たち」ということになる。さらにいえば、彼らは快楽や享楽のために市販薬を乱用しているわけではない、ということも大事なポイントです。彼らの薬物摂取行動を強化する報酬は、決して快感ではなく、むしろ「苦痛が一時的に緩和されること」にある。したがって、単に市販薬乱用をやめるだけで、彼らが抱えている問題が解決するわけではないこと、引き続き手厚い精神保健的支援が必要であることも知っておく必要があります。

(松本俊彦先生 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 一市販薬(OTC薬)乱用・依存の現状と防止に向けた課題—2019年8月 厚生労働省 医薬品・医療機器等安全性情報 No.365より)

薬物乱用防止の知識について

十分にご承知のことと思いますが、ここで、厚生労働省のリーフレットにより、確認してみましょう。

薬物乱用防止リーフレット
令和3年度 厚生労働省から

1 一回だけでも薬物乱用!!

薬物の使用は、厳密なルールと法律によって規

制されています。使い方を間違えると、脳や神経を壊し、死んでしまうこともあるからです。そんな危険性がある薬物を、ルールや法律から外れた目的や方法で使用することを「薬物乱用」といいます。鎮痛薬などの医薬品においても、用法や用量というルールを守って使用することが重要です。

2 乱用が大切な脳を傷つける!

私たちの脳は、すごいスピードで情報を処理し、体の隅々にまで伝達する、すぐれた仕組みを持っています。脳の働きによって私たちの行動のほとんど全てがコントロールされています。薬物を乱用すると脳の仕組みが壊されて体に様々な問題が起こります。

薬物を乱用した人の回復のためには、厳しい専門の治療と、本人の多大な努力が必要になり、「再び乱用をしないために、薬物を使いたい気持ちと一生戦い続ける」というリスクを背負うことになるのです。それでも、変化した脳は元には戻らないので「完治する」ことはありません。また、再乱用をしなくても、些細なストレスなどが引き金になって、幻覚や妄想という症状が再燃してしまうことがあります(フラッシュバック)。

3 あなただけの問題ではない!

薬物乱用は、本人だけの問題ではありません。乱用により性格、生活習慣が変わると社会や周りの人々に重大な影響を与えます。

4 大切な自分を守るために

誘いの言葉にだまされない。誘いを断る勇気を身につけよう。

5 悩んだときは、まず相談!

困ったときは、一人で悩まず相談を! あなたは一人ではありません。相談窓口では相談に関する秘密は厳守します。安心して少しでも早く相談してください。

相談窓口

福島県精神保健福祉センター	☎024-535-3566
福島県薬務課	☎024-521-7233
県北保健所医療薬事課	☎024-534-4103
福島県警本部警察安全相談	☎024-525-8055
東北厚生局麻薬取締部	
「麻薬・覚せい剤・中毒」相談窓口	☎022-227-5700

薬物乱用防止運動

まず、薬物乱用防止指導員とは

地域毎にきめ細かい広報活動を行い、薬物乱用を許さない環境づくりを推進するため、1984年度から福島県薬物乱用対策推進本部長(=県副知事)から委嘱を受け地域に根ざした啓発活動を行っています。

特に、街頭活動や薬物乱用防止教室の講師を通して、青少年による薬物乱用の根絶を目指して活動しています。

次に、薬物乱用防止指導員が関与している活動について説明します。

【主な運動内容】

・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 6月20日～7月19日
 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動は、国内における薬物乱用防止活動において官民一体となり、国民一人一人の薬物乱用問題に関する意識を高めるとともに国連総会決議に基づく「6・26国際麻薬乱用撲滅デー」(注)の周知を図ることにより、内外における薬物乱用防止に資することを目的として全国で実施されています。

(主催は、国等の行政機関ですが、毎年ロータリークラブ様にも後援頂いております。)

(注)昭和62年(1987年)に開催された「国際麻薬会議」の終了日の6月26日を「国際麻薬乱用撲滅デー」とし、各国がこの宣言の趣旨を普及する日と定めた。

○6・26ヤング街頭キャンペーン

○地域団体キャンペーン

○「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金運動



▲6・26ヤング街頭キャンペーン



▲麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動



・麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動

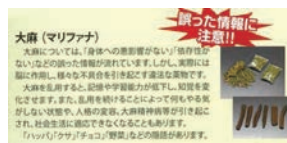
10月1日～11月30日

本運動は、薬物乱用による危害を広く国民一般の方々に正しく認識してもらい、国民が一体となってこれに立ち向かう態勢を作り、もって薬物乱用による弊害の根絶を期することを目的として全国で実施されています。(福島地区では祭礼時啓発活動)

・薬物乱用防止教室 (学校を訪問し啓発資料配布)

・不正大麻・けし撲滅運動 5月1日～6月30日

犯罪予防の観点から、不正栽培及び自生する大麻・けしを撲滅するため、広く一般に対して大麻・けしに関する正しい知識の普及を図る目的として全国で実施されています。 など



▲不正大麻・けし撲滅運動

薬物乱用防止啓発活動を通じて、薬物乱用を許さない環境づくりと薬物関連問題相談事業の窓口を紹介など、防止に向けての活動を進めてまいりますので、今後とも、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

◇閉会点鐘

高橋 智 弘会長

※会報カメラ担当

宮崎 秀 剛会員

●他RC例会場・例会日

クラブ名	曜日	例会場名	クラブ名	曜日	例会場名
福島RC	木曜日	クーラクーリアンテサンパレス	飯坂RC	木曜日	吉川屋
福島南RC	水曜日	クーラクーリアンテサンパレス	福島北RC	火曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島中央RC	水曜日	ザ・セレクトン福島	福島東RC	金曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島21RC	木曜日 18:30~	クーラクーリアンテサンパレス	福島しんたつRC	月曜日 18:30~	福島県青少年会館